

1月給食だより

平成29年12月25日

練馬区立田柄小学校

栄養士 竹内 玲子



早寝早起き朝ごはん

「早寝早起き朝ごはん」運動シンボルマーク

1月24日から30日は「全国学校給食週間」があります。この期間には、学校給食の歴史や給食の役割、食文化についてなど、さまざまな取り組みが行われます。食べ物や作る人々の思いに感謝し、食べることの大切さについても考える機会としています。ご家庭でも、毎日の食事に込められた思いや、食事の大切さについて、折にふれてお話していただければと思います。

全国学校給食週間とは

学校給食は、栄養のバランスのとれた食事によって子どもたちの成長を支え、食べて味わう「生きた教材」です。望ましい食事のとり方の手本となる、思いやりや社会性を身につける、自然の恵みや勤労に感謝する、さまざまな地域の食文化を知り伝統を未来に伝えるなどの役割があります。そして、食べることを通して社会のしくみを学んでいきます。

全国学校給食週間は、このような学校給食の意義や役割について理解を深め、関心を高めてもらうために行われる毎年恒例の行事です。

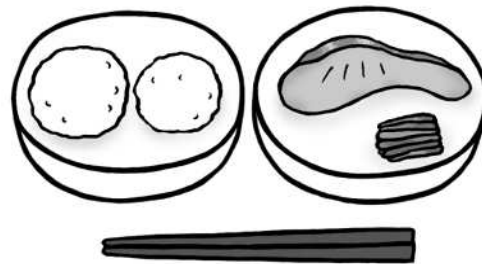


学校給食の歴史

日本で最初の学校給食は、明治22(1889)年、現在の山形県鶴岡市にあった私立忠愛小学校でお弁当を持ってこられない子どもたちに無償で提供された昼食でした。

このように戦前は主に福祉の観点から給食が各地で行われました。戦争中の中断を経て、戦後、世界からの温かい支援で再出発した日本の給食は、教育活動の一つとして位置付けられたとても画期的なものでした。

平成17(2005)年の食育基本法成立後は、地場産物の活用や伝統的な郷土料理、季節ごとの行事食なども取り入れながら、栄養面だけでなく、食べることを通して社会を学び、また思いやりや感謝する心を育んでいくなど、子どもたちの心も豊かにしていくような給食が目指されています。



< 田柄小の給食室から >

1月は「睦月」といいます。親戚や知人が互いに行き交って「仲睦まじく」することから名付けられたといわれます。1年の最初の月でもあるため、1年を健康に過ごすための願いが込められたさまざまな行事が行われます。またそうしたときに食べる行事食をととても身近に感じることができる月です。

せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろの「春の七草」を刻んだおかゆを食べて1年の無病息災を祈るのが「七草がゆ」です。田柄小学校では9日火曜日に、すずなとすずしろが入った「七草汁」をいただきます。学校給食用牛乳の容器の変更が平成30年度よりビンから紙パックになります。紙パック試行として今月15日から19日まで体験として実施いたします。

< 12月分の主な食材産地 >

野菜

玉葱…北海道 ジャがいも…北海道 きゃべつ…愛知 ごぼう…青森
青梗菜…静岡 たけのこ…福岡 ねぎ…千葉 こまつな…埼玉
白菜…茨城 しめじ…長野 エリンギ…新潟
人参…練馬区 だいこん…練馬区

魚介類

ちりめんじゃこ…兵庫 いか…北太平洋、ペルー

精肉

鶏肉…岩手 豚肉…岩手

鶏卵

米 まっしぐら…青森 彩の輝き…埼玉

牛乳 予定産地…千葉、群馬、岩手、宮城、青森、秋田、北海道

その他

味噌…長野、岩手 豆腐…宮城 油揚げ…山形、栃木

大豆…北海道 こんにゃく…群馬、栃木、山梨、茨城

学校給食費の徴収にご協力をお願いいたします。

第8回目の引き落とし日は1月11日(木)です。

引き落とし指定日までに口座残高の確認をお願いいたします。